

クレモナ工房見学



ミラノから南東へおよそ75km。かつてよりヴァイオリンの街として知られる『クレモナ市』、そこに本校6年生が毎年お世話になっている日本人マエストロ(ヴァイオリン職人)がいます。石井高さん。マエストロを志してクレモナにやってきて45年、その間ずっとヴァイオリンをつくり続けてきた日本を代表するマエストロです。6年生は毎年石井さんの工房を見学させていただき、ヴァイオリン製作や石井さんの生き方について学ばせていただいています。今年もお邪魔させていただき、多くの学びがある充実した一日を過ごすことができました。石井さんに心から感謝の一日でした。



電車の車窓から見えた霧にけむる平原



最後までしっかり子どもたちと向き合ってくださいました



45年ものヴァイオリンの木を削らせていただきました!



ヴァイオリン製作の天才
ストラディヴァリの墓石



トラッツォ(塔)、大聖堂前にて